

厚生労働省  
群馬労働局発表  
令和3年4月30日

【照会先】  
群馬労働局労働基準部健康安全課  
課長 吉永 宜司  
地方産業安全専門官 品川 伸一  
労働基準監督官 芝田 一樹  
(電話) 027-896-4736

## 令和2年の労働災害発生状況について（確定） - 死亡者数は過去最少、死傷者数は増加 -

### 1 令和2年の労働災害の発生状況（図表1から図表5）

群馬労働局管内（局長 丸山陽一）における休業4日以上死傷者数は2,507人、そのうち死亡者数は昭和23年に統計を取り始めてから最少人数の10人となりました。

#### 【前年と比較した主な特徴】

- ・死傷者数は106人（4.4%）増加、死亡者数は1人（9%）減少
- ・死傷者数の多い業種は、製造業731人、続いて商業376人、保健衛生業323人
- ・死亡者数の多い業種は、製造業、建設業、運輸交通業、商業で各2人
- ・死傷者数の多い事故の型別は、転倒602人、続いて動作の反動・無理な動作、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ
- ・死傷者数の年齢では、50歳以上が54.0%（うち、60歳以上は28.6%）
- ・死傷者の被災時の経験年数は、1年以内が30.9%、3年以内が48.5%

#### 【対策】

労働災害は、昭和54年の6,325人をピークに以降減少したものの、近年は2,000人台で増減を繰り返しています。第13次労働災害防止計画に基づき、さらなる労働災害減少に向けて、労働災害が増加傾向にある業種等を中心に効果的かつ効率的な対策を推進します。

### 2 令和3年の労働災害の発生状況（図表6）

群馬労働局管内における休業4日以上死傷者数は、1月から3月までの累計で452人、そのうち死亡者数は5人となっています。

#### 【昨年同期と比較した特徴】

- ・死傷者数は38人増加（前年同期 414人）
- ・死亡者数は3人増加（前年同期 2人）
- ・業種別でみると、死傷者数は社会福祉施設（22人 41人）、建設業（40人 52人）などで増加し、死亡者数は建設業（0人 3人）、製造業（0人 1人）で増加

#### 【対策】

死亡者、死傷者とも増加した建設業においては、死傷者数52人のうち「墜落・転落」が15人（28.8%）を占めています。第13次労働災害防止計画に基づき、引き続き、足場・はしご等からの墜落・転落災害の防止対策を推進します。

(1) 業種別の状況

ア 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年同期	前年同期比 増減数	増減率	全産業に占める割合	
製造業	731	729	2	0.3%	29.2%	
食料品	228	216	12	5.6%	製造業 に占め る割合	31.2%
金属製品	112	109	3	2.8%		15.3%
輸送用機械器具	83	99	-16	-16.2%		11.4%
建設業	242	237	5	2.1%	9.7%	
土木工事	69	67	2	3.0%	2.8%	
建築工事	133	139	-6	-4.3%	5.3%	
その他の建設	40	31	9	29.0%	1.6%	
運輸交通	316	313	3	1.0%	12.6%	
道路貨物運送	299	289	10	3.5%	11.9%	
商業	376	347	29	8.4%	15.0%	
小売業	284	270	14	5.2%	11.3%	
保健衛生業	323	240	83	34.6%	12.9%	
社会福祉施設	240	183	57	31.1%	9.6%	
その他	519	535	-16	-3.0%	20.7%	
合計	2,507	2,401	106	4.4%	100.0%	

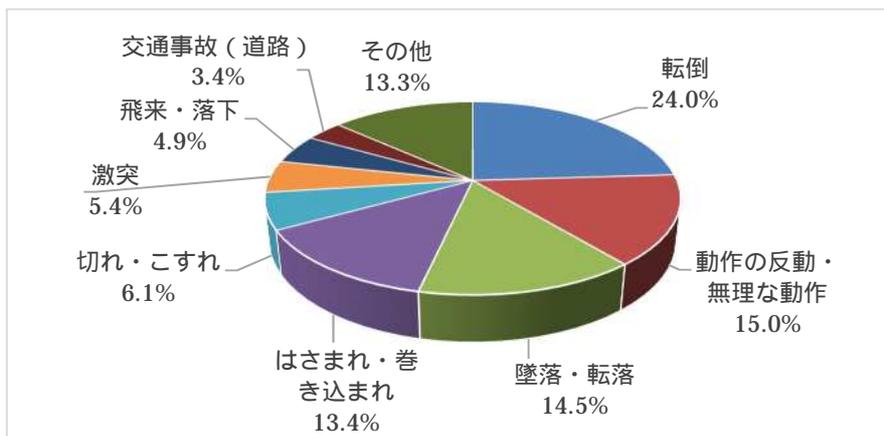
イ 死亡災害発生状況

業種	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
製造業	7	3	1	2
建設業	3	6	0	2
運輸交通	3	3	5	2
農林業	2	3	1	1
商業	1	0	3	2
保健衛生業	0	1	0	0
接客娯楽業	1	1	0	0
その他	3	3	1	1
合計	20	20	11	10

(2) 事故の型別の状況

ア 全産業

業種	転倒	動作の 反動・無 理な動 作	墜落・転 落	はさま れ・巻き 込まれ	切れ・こ すれ	激突	飛来・落 下	交通事 故(道 路)	その他	合計
全産業	602	376	363	336	153	135	123	86	333	2,507
割合	24.0%	15.0%	14.5%	13.4%	6.1%	5.4%	4.9%	3.4%	13.3%	100.0%
前年増減 比	13.8%	2.2%	-5.0%	7.3%	0.0%	4.7%	-9.6%	-37.2%	31.1%	4.4%



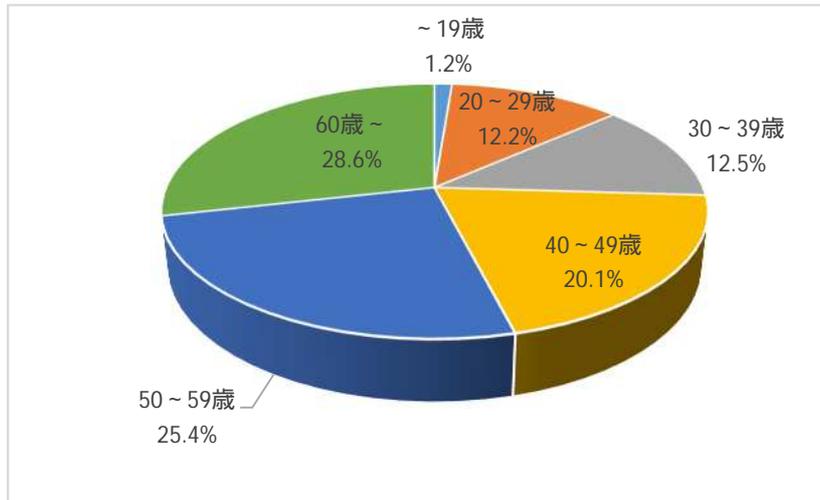
イ 死傷者数が多い業種

	転倒	動作の 反動・無 理な動 作	墜落・転 落	はさま れ・巻き 込まれ	切れ・こ すれ	激突	飛来・落 下	交通事 故(道 路)	その他	合計
製造業	157	92	56	172	70	45	48	3	88	731
割合	21.5%	12.6%	7.7%	23.5%	9.6%	6.2%	6.6%	0.4%	12.0%	100.0%
前年増減比	36.5%	-2.1%	-28.2%	-5.0%	2.9%	21.6%	-25.0%	-66.7%	6.0%	0.3%
建設業	25	23	69	31	22	12	22	7	31	242
割合	10.3%	9.5%	28.5%	12.8%	9.1%	5.0%	9.1%	2.9%	12.8%	100.0%
前年増減比	0.0%	43.8%	-10.4%	0.0%	-4.3%	-20.0%	29.4%	40.0%	10.7%	2.1%
運輸交通業	57	36	88	42	3	20	16	18	36	316
割合	18.0%	11.4%	27.8%	13.3%	0.9%	6.3%	5.1%	5.7%	11.4%	100.0%
前年増減比	42.5%	-37.9%	11.4%	-10.6%	0.0%	25.0%	6.7%	-14.3%	5.9%	1.0%
道路貨物運送	52	34	86	41	3	19	16	13	35	299
割合	17.4%	11.4%	28.8%	13.7%	1.0%	6.4%	5.4%	4.3%	11.7%	100.0%
前年増減比	67.7%	-35.8%	10.3%	-4.7%	0.0%	18.8%	6.7%	-31.6%	12.9%	3.5%
商業	133	70	40	39	19	14	11	26	24	376
割合	35.4%	18.6%	10.6%	10.4%	5.1%	3.7%	2.9%	6.9%	6.4%	100.0%
前年増減比	19.8%	22.8%	2.6%	200.0%	-9.5%	0.0%	-21.4%	-48.0%	-14.3%	8.4%
小売業	110	57	25	23	13	11	8	23	14	284
割合	38.7%	20.1%	8.8%	8.1%	4.6%	3.9%	2.8%	8.1%	4.9%	100.0%
前年増減比	17.0%	26.7%	-7.4%	283.3%	-18.8%	10.0%	0.0%	-46.5%	-33.3%	5.2%
保健衛生業	90	94	14	8	8	12	3	3	91	323
割合	27.9%	29.1%	4.3%	2.5%	2.5%	3.7%	0.9%	0.9%	28.2%	100.0%
前年増減比	9.8%	19.0%	16.7%	166.7%	60.0%	-36.8%	50.0%	-50.0%	184.4%	34.6%
社会福祉施設	59	77	12	5	7	11	1	2	66	240
割合	24.6%	32.1%	5.0%	2.1%	2.9%	4.6%	0.4%	0.8%	27.5%	100.0%
前年増減比	-4.8%	22.2%	33.3%	400.0%	133.3%	-26.7%	-50.0%	-66.7%	200.0%	31.1%

(3) 年齢別の状況

ア 全産業

業種	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
全産業	31	306	314	503	637	716	2,507
割合	1.2%	12.2%	12.5%	20.1%	25.4%	28.6%	100.0%
前年増減比	-16.6%	-0.6%	-10.3%	-1.8%	14.2%	12.6%	4.4%

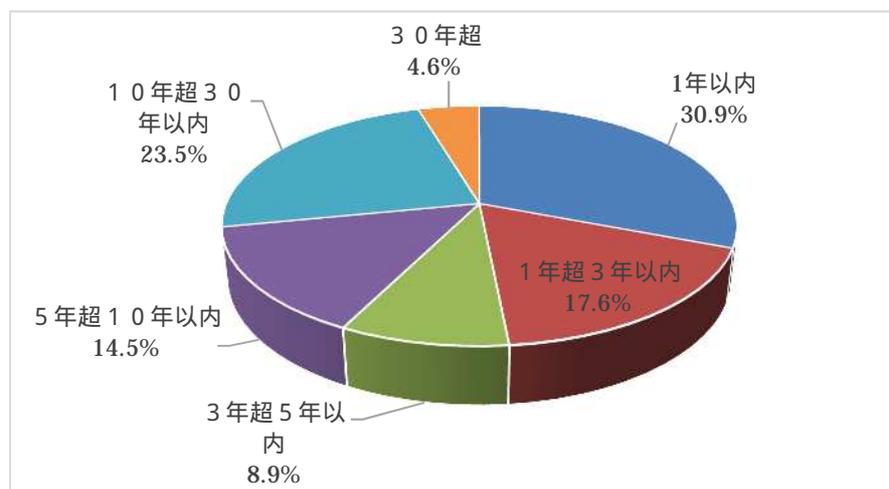


イ 死傷者が多い業種

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
<b>製造業</b>	7	113	117	151	192	151	731
割合	1.0%	15.5%	16.0%	20.7%	26.3%	20.7%	100.0%
前年増減比	-30.0%	-4.2%	-15.8%	-9.6%	32.4%	0.7%	0.3%
<b>建設業</b>	2	44	34	52	33	77	242
割合	0.8%	18.2%	14.0%	21.5%	13.6%	31.8%	100.0%
前年増減比	-50.0%	4.8%	-12.8%	-8.8%	-19.5%	42.6%	2.1%
<b>運輸交通業</b>	4	29	26	84	106	67	316
割合	1.3%	9.2%	8.2%	26.6%	33.5%	21.2%	100.0%
前年増減比	300.0%	26.1%	-31.6%	-13.4%	14.0%	9.8%	1.0%
道路貨物運送	4	27	24	80	104	60	299
割合	1.3%	9.0%	8.0%	26.8%	34.8%	20.1%	100.0%
前年増減比	300.0%	28.6%	-33.3%	-14.0%	19.5%	17.6%	3.5%
<b>商業</b>	5	38	36	68	102	127	376
割合	1.3%	10.1%	9.6%	18.1%	27.1%	33.8%	100.0%
前年増減比	0.0%	0.0%	-7.7%	13.3%	8.5%	14.4%	8.4%
<b>小売業</b>	5	26	27	50	71	105	284
割合	1.8%	9.2%	9.5%	17.6%	25.0%	37.0%	100.0%
前年増減比	66.7%	-3.7%	0.0%	13.6%	-5.3%	11.7%	5.2%
<b>保健衛生業</b>	1	26	45	62	86	103	323
割合	0.3%	8.0%	13.9%	19.2%	26.6%	31.9%	100.0%
前年増減比	0.0%	8.3%	73.1%	44.2%	19.4%	39.2%	34.6%
<b>社会福祉施設</b>	0	18	34	46	64	78	240
割合	0.0%	7.5%	14.2%	19.2%	26.7%	32.5%	100.0%
前年増減比	0.0%	0.0%	41.7%	48.4%	28.0%	30.0%	31.1%

(4) 経験年数別の状況

	1年以内	1年超 3年以 内	3年超 5年以 内	5年超 10年 以内	10年 超30 年以内	30年 超	合計
全産業	774	441	224	363	590	115	2,507
R1	762	405	217	393	520	104	2,401
割合	30.9%	17.6%	8.9%	14.5%	23.5%	4.6%	100.0%
前年増減比	1.6%	8.9%	3.2%	-7.6%	13.5%	10.6%	4.4%



添付資料

図表1 「群馬労働局管内における労働災害の推移」

図表2 「令和2年 労働者死傷病報告受理件数表」

図表3 「令和2年 死亡災害事例」

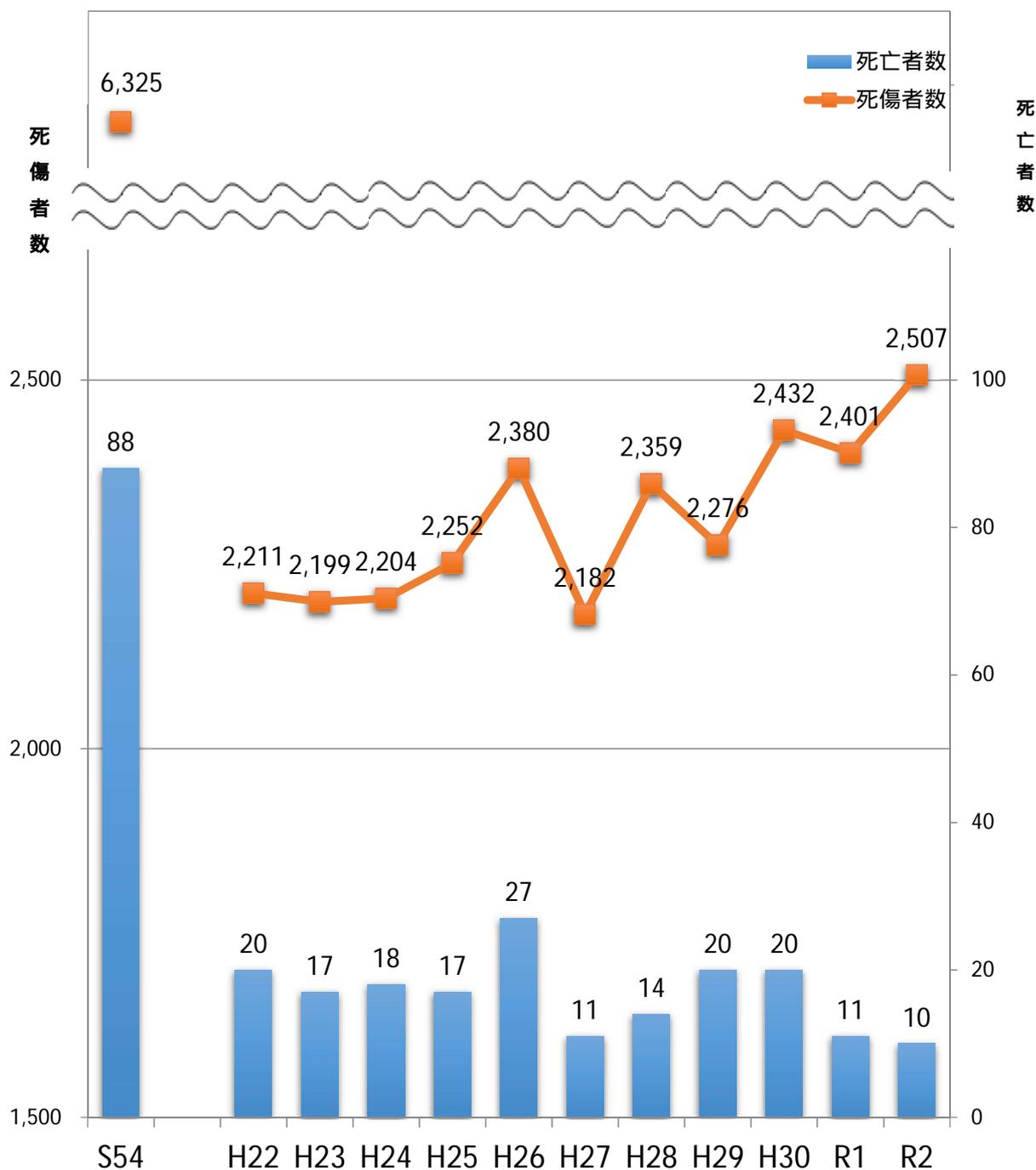
図表4 「令和2年 死亡災害発生状況」

図表5 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

図表6 「令和3年 労働者死傷病報告受理件数表」

図表 1

### 群馬労働局管内における労働災害の推移



# 令和 2 年 労働者死傷病報告受理件数表 図表 2

令和 3 年 3 月 末 確 定  
群 馬 労 働 局

業種別	署別							群馬局計	前年同期	増減
	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条			
製 造 業	133	1	1	191	22	37	13	2	1	1
食料品製造業	44	295	40	35	12	6	3	731	729	2
建 設 業	74	1	15	42	13	10	1	2	2	2
木造家屋等 建築工事業	6	77	15	2	1	2	11	242	237	5
運 輸 交 通 業	1	1	1	1	1	1	1	2	5	-3
道路貨物運送業	65	135	11	79	12	10	4	316	313	3
	1	1	1	1	1	1	1	2	5	-3
	58	129	11	77	10	10	4	299	289	10
林 業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	4	2	4	4	4	4	8	26	18	8
小 売 業	60	1	1	46	13	19	7	2	3	-1
	121	18	46	13	19	7	7	284	270	14
社会福祉施設	49	118	19	38	10	3	3	240	183	57
接客娯楽業	29	65	6	8	13	5	17	143	171	-28
飲食店	11	40	4	3	2	3	3	63	63	0
上記以外の事業	108	196	49	104	32	14	22	1	2	-1
清掃・と畜業	21	40	6	25	2	2	3	99	91	8
計	2	3	2	2	1	1	1	10	11	-1
	522	1009	162	508	119	102	85	2,507	2,401	106
前年同期	497	927	136	549	111	110	71	2,401		
増 減	2	-3	2	-1	-1	-1	1	-1		
	25	82	26	-41	8	-8	14	106		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別		高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	1	137	23	70	29	9	12	1	1	-19
	83	137	23	70	29	9	12	363	382	-19	
	転倒	149	237	46	96	26	24	24	602	529	73
	はさまれ・ 巻き込まれ	53	127	17	93	12	21	13	336	313	23
	1	127	17	93	12	21	13	336	313	23	
	切れ・こすれ	31	73	9	25	3	6	6	153	153	-1
動作の反動・ 無理な動作	79	148	21	81	20	14	13	376	368	8	
起 因 物 別	建設機械等	6	5	2	2	3	2	1	1	24	1
	6	5	2	2	3	2	1	25	24	1	
	食品加工用機械		21	3	4	1			29	30	-1
トラック	51	76	10	33	7	4	2	183	200	-17	
外国人の災害	1	1						2		2	
23	78	4	63	4	4	5	5	181	168	13	
建設公共工事の 災害	8	9	5	5	2	2	3	34	29	5	

- 注 1 この表は、死亡及び休業 4 日以上労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

# 令和2年 死亡災害事例

図表 3

令和3年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 3時頃 10～29人	40歳代 運転者	荷主先で荷卸し後、体調不良を訴え、病院で治療を受けたが、くも膜下出血により翌日死亡した。	道路貨物 運送業	その他	起因物なし
2	3月 16時頃 1～9人	30歳代 運転者	太陽光発電建設予定地において、車両系木材伐出機械を運転し、竹林の伐採等作業を行っていたところ、傾斜のある作業道を滑り、路肩を越えて約20m転落した。	林業	墜落、転落	伐木等機械
3	4月 1時頃 1～9人	50歳代 運転者	大型の冷凍車を運転して国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型貨物自動車に追突し、そのまま道路左側の跨線橋フェンスや橋脚に激突した。	道路貨物 運送業	交通事故 (道路)	トラック
4	7月 8時頃 1～9人	60歳代 作業員	河川の災害復旧工事において、護岸補強のためスコップにて砂利を敷き均していたところ、約3.5m上の道路を走行していたドラグ・ショベルのキャタピラ部が敷鉄板に接触し、落下した敷鉄板が衝突した。	土木工事業	飛来、落下	掘削用機械
5	7月 16時頃 1～9人	60歳代 機械工	プレス機械の金型交換で金型を載せたフォークリフトから降車しプレス機械のスライド下面の清掃作業中、フォークリフトが突然動き出し、プレス機械とフォークリフトに載せられた金型との間に腹部を挟まれた。	金属製品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	フォーク リフト
6	8月 11時頃 1～9人	60歳代 技能者	出張先の工場内で、マシニングセンタの修理作業中、機械内部のパレットチェンジャー(回転扉)に腰部を挟まれた。	その他の 事業	はさまれ、 巻き込まれ	金属加工用 機械
7	9月 5時頃 10～29人	60歳代 配達員	バイクで新聞配達中、急な坂道(上り坂、勾配約13度)で次の配達先に向かうためバイクを転回させていたところ、バイクの後輪から坂道の途中にある民家敷地内(段差約0.65m)へ墜落した。	新聞販売業	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
8	10月 10時頃 30～50人	70歳代 外勤 事務員	集金業務のため、バイクにて町道十字路(信号機なし)を走行中、右から来た軽自動車と衝突した。	新聞販売業	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、 バイク
9	12月 8時頃 300人～	50歳代 技術者	プラスチック容器製造工程で出た端材粉碎機の保全作業中、刃の交換のため開けていたカバーを固定していたチェーンブロックが外れ自重で閉じてしまい、頭部がカバーと防音壁の間に挟まれた。	プラスチック 製品製造業	はさまれ、 巻き込まれ	混合機、 粉碎機
10	12月 16時頃 10～29人	50歳代 作業員	道路の除草作業後、退勤しようと傾斜39度の法面を駆け上がろうとしたところ、転倒して側溝に転落した。	土木工事業	転倒	地山、岩石

# 令和2年 死亡災害発生状況

図表4

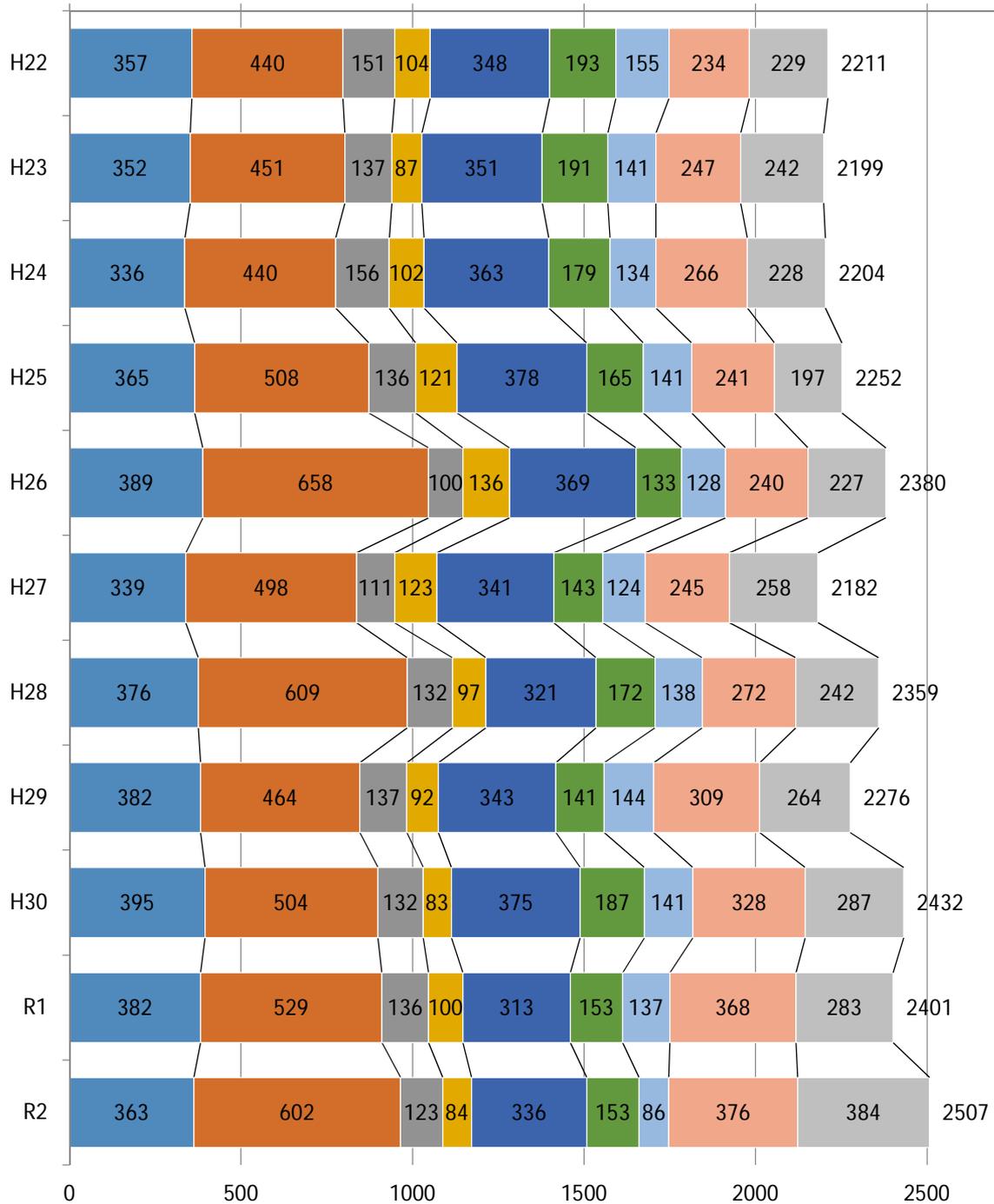
令和3年3月末確定  
群馬労働局

	平成30年	令和元年	令和2年	対30年比	対元年比
製造業	3	1	2	-1	1
建設業	6		2	-4	2
運輸交通業	3	5	2	-1	-3
林業	2		1	-1	1
商業		3	2	2	-1
接客娯楽業	1			-1	0
その他	5	2	1	-4	-1
計	20	11	10	-10	-1

図表 5

### 年別・事故の型別の労働災害発生件数

- 墜落・転落
- 転倒
- 飛来・落下
- 激突され
- はさまれ・巻き込まれ
- 切れ・こすれ
- 交通事故（道路）
- 動作の反動・無理な動作
- その他



# 令和3年 労働者死傷病報告受理件数表

図表6

令和3年3月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		11	54	13	22	5	9	1	1	122	1
	食料品製造業	3	23	2	3	3	1	2	116	43	-6
建設業		2				1			3		3
	木造家屋等建築工事業	16	19	6	5	3	3		52	40	12
運輸交通業			1						1	1	
	道路貨物運送業	8	34	2	8	4	3		59	60	-1
林業									1	1	
		6	33	2	8	3	3		55	57	-2
小売業		2	1	2			1	2	8	7	-1
		9	17	6	12	2	2		48	43	5
社会福祉施設	10	11	13	6				1	41	22	19
接客娯楽業		4	4	1	2	5	3	3	22	30	-8
	飲食店	2	2	1	2		1		8	11	-3
上記以外の事業		15	54	9	17	3	4	4	106	90	16
	清掃・と畜業	4	6	3	4			1	18	14	4
計		2	1			1		1	5	2	3
		75	194	52	72	22	25	12	452	414	38
前年同期	2							2			
	82	172	22	85	24	16	13	414			
増減			1			1		1	3		
		-7	22	30	-13	-2	9	-1	38		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の型別	墜落・転落	16	31	9	14	5	6	3	1	1	16
	転倒	13	38	7	20	10	3	4	95	100	-5
	はさまれ・巻き込まれ	10	19	6	6	1	5	1	1	59	-11
	切れ・こすれ	5	8	1	6	2			22	24	-2
	動作の反動・無理な動作	10	39	5	9	2	3	1	69	66	3
起因物別	建設機械等	1							1		1
	食品加工用機械	4	2	1	1				8	3	5
	トラック	2	5						7	9	-2
外国人の災害	6	15	4	7	1	2		35	37	-2	
建設公共工事の災害		1	13	1	3		1		19	1	-1
		1	3	2		1			2	18	1
	6				1			12	4	8	

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。  
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。  
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。